

皮膚科学

責任者・コーディネーター	皮膚科学講座 赤坂 俊英 教授		
担当講座・学科(分野)	皮膚科学講座		
担当教員	赤坂 俊英 教授、高橋 和宏 准教授、森 志朋 講師、遠藤 幸紀 講師、中川 秀己 非常勤講師、馬場 俊右 講師、前田 文彦 講師、櫻井 英一 助教、渡部 大輔 講師、森 康記 客員准教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 24 時間
期間	通期		

・学習方針（講義概要等）

皮膚と粘膜は内臓と外的環境の境界となる臓器であり、内臓と環境の影響が発疹となって表れることが多い。皮膚科学では発疹の形態と色調を分析し、そこに起こっている病態を理解することにより発疹の誘因となった外的環境、内臓障害および心的要因を類推し、これを治療と予防する学問である。

・一般目標（GIO）

皮膚科学の講義を通じて、将来医師としてあるいは医学者として活躍する際に必要な発疹のみかたとその病態、検査法、診断手順、治療法と予防法を修得する。

・到達目標（SBO）

1. 皮膚の基本的構造と生理学的特性を述べ、その異常による疾患について説明することができる。
2. 皮膚科診断学、発疹学、皮膚病理組織学、皮膚科検査法の種類とその手技を説明することができる。
3. 皮膚科治療法と外用剤使用法の原理を説明することができる。
4. 内臓病変に伴う、皮膚疾患の種類と病態について説明できる。
5. 皮膚の感染防御機構と、ウイルス性および細菌性皮膚感染症による皮膚病変の病態を説明し、その診断と治療法を述べることができる。
6. 皮膚抗酸菌症、皮膚真菌症、性病と節足動物による皮膚障害の病態の病態を説明し、その診断と治療法を述べることができる。
7. 良性皮膚腫瘍、皮膚奇形、母斑症の病態を説明し、その診断と治療法を述べることができる。
8. 悪性皮膚腫瘍の病態を説明し、その診断と治療法を述べることができる。

9. 皮膚付属器の種類、生理作用およびその疾患、肉芽腫など真皮に生じる疾患の病態、について説明し、診断と治療法を述べることができる。
10. 紫外線を含む皮膚の物理的障害について説明し、その治療法と予防法を述べることができる。
11. 膠原病、紫斑と血管炎の皮膚症状の特徴について説明し、その診断法と治療法を述べるができる。
12. 水疱症と膿疱症の種類と病態について説明し、その診断法と治療法を述べることができる。
13. 皮膚の免疫機構について説明し、湿疹皮膚炎、蕁麻疹とアナフィラキシーの病態、その診断法と治療法を述べることができる。
14. 代謝異常、色素異常症について説明し、その治療法と予防法を述べることができる。
15. 薬疹、GVHDの皮膚病変の病態、その診断法と治療法を述べることができる。
16. 表皮の角化機序と意義を説明し、先天性および後天性角化異常症、紅斑症の種類と病態、その診断法と治療法を述べることができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/2	火	1	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	巧みな皮膚の構造と機能 皮膚の解剖（表皮、真皮、皮下組織、付属器）・皮膚生理機能・皮膚の免疫
4/2	火	2	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	発疹の見方が正しい診断と治療を導く 発疹の見方(原発疹、続発疹)・皮膚疾患の診断学・検査法・皮膚病理の見方
4/16	火	1	皮膚科学講座	森 志朋 講師	外用療法と紫外線治療は皮膚病治療の基本 皮膚病治療（外用療法・抗アレルギー薬・抗真菌剤・PUVA 治療）
4/16	火	2	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	皮膚は内臓疾患の鏡である 内臓疾患（糖尿病・内臓癌・代謝異常・ホルモン異常）の皮膚病変
4/23	火	1	皮膚科学講座	遠藤 幸紀 講師	感染症を見逃すな 皮膚の細菌（伝染性膿痂疹・丹毒・蜂窩織炎・ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群・壊死性筋膜炎・ガス壊疽・猫ひっかき病）とウイルス（単純ヘルペス・带状疱疹・水痘・尋常性疣

					贅・伝染性軟属腫・麻疹・風疹・伝染性紅斑・手足口病) 感染症
月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/23	火	2	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	見逃してはならない皮膚抗酸菌症・性病・虫による皮膚病 皮膚結核・皮膚非結核性抗酸菌症・皮膚真菌症・梅毒・ツツガムシ病
5/7	火	1	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である 母斑症（母斑細胞性母斑・太田母斑・カフェオレ斑・神経線維腫症・結節性硬化症・スタージウウェーバー症候群）と皮膚良性腫瘍（脂漏性角化症・汗孔角化症・肥満細胞腫・幼児血管腫）
5/7	火	2	皮膚科学講座	前田 文彦 講師	皮膚悪性腫瘍（悪性リンパ腫も含む）の診断と治療 悪性黒色腫・基底細胞癌・有棘細胞癌・パジェット病・血管肉腫・メルケル細胞癌・癌前駆症・カポシ肉腫・ランゲルハンス細胞組織球症・皮膚T細胞リンパ腫・皮膚B細胞リンパ腫
5/14	火	1	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	皮膚付属器と真皮の役割と疾患 Werner 症候群・サルコイドーシス・環状肉芽腫・エアラスダンロス症候群・マルファン症候群・弾力線維性仮性黄色腫・結節性紅斑・硬結性紅斑・汗疹・痒瘡・酒皸・顔面播種状粟粒性狼瘡・脱毛症
5/14	火	2	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	物理的皮膚障害の病態と治療戦略 物理化学皮膚障害（熱傷・化学熱傷・放射線皮膚炎・光線過敏症・色素性乾皮症）
5/16	木	3	皮膚科学講座	森 志朋 講師	膠原病と血管炎の診断に役立つ皮膚病変 膠原病（SLE・DLE・PSS・皮膚筋炎・シェーグレン症候群・関節リュウマチ）、血管炎（皮膚症血管性紫斑・ヘノッフ紫斑・結節性多発動脈炎・紫斑病）

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/16	木	4	皮膚科学講座	渡部 大輔 講師	水疱症は接着分子の自己免疫疾患である 水疱症（表皮水疱症・尋常性天疱瘡・水疱性類天疱瘡・後天性表皮水疱症・ジューリング疱疹状皮膚炎）、膿疱症（掌蹠膿疱症）
5/28	火	3	皮膚科学講座	遠藤 幸紀 講師	湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による 湿疹皮膚炎（接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎・貨幣状湿疹・自家感作性皮膚炎・脂漏性皮膚炎・うっ滞性皮膚炎・皮脂欠乏性湿疹）、蕁麻疹（蕁麻疹・血管浮腫・慢性痒疹・皮膚掻痒症）
5/28	火	4	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	皮膚の代謝異常症と色素異常症およびその障害 代謝異常（皮膚アミロイドーシス・ムチン沈着症・電解質異常・ポルフィリン症）、色素異常症（眼皮膚白皮症・尋常性白斑・フォクト小柳原田病・アジソン病）、
6/4	火	3	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	薬疹を見逃すな 紅斑症（多型紅斑・ステイブンスジョンソン症候群・スウィート病・手掌紅斑・環状紅斑・紅皮症）、薬疹（固定薬疹・TEN・薬剤過敏症症候群）
6/4	火	4	皮膚科学講座	中川 秀己 非常勤講師	表皮角化異常はサイトカインによる 遺伝性角化症（魚鱗癬・掌蹠角化症・ダリエー病）、後天性角化症（扁平苔癬・尋常性乾癬・膿疱性乾癬・類乾癬・ジベルバラ色秕糠疹・黒色表皮腫）

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	皮膚科学 9 版 (Minor textbook)	上野賢一、大塚藤男	金芳堂	2012
推	標準皮膚科学 9 版	富田靖 他編	医学書院	2010
推	皮膚病アトラス 5 版	西山茂夫 著	文光堂	2004
推	カラー皮膚科 (チャート医師国家試験対策)	川田暁、森田明理 著	医学評論社	2010
推	皮膚科 5 版 (国試マニュアル 100%シリーズ)	KM100%編集委員会	医学教育出版社	2008

・成績評価方法

試験 80%、出席率および授業態度 20%で評価する。

・特記事項・その他

- 1.巧みな皮膚の構造と機能 1 回
- 2.発疹の見方が正しい診断と治療を導く 1 回
- 3.外用療法と紫外線治療は皮膚病治療の基本 1 回
- 4.皮膚は内臓疾患の鏡である 1 回
- 5.感染症を見逃すな 1 回
- 6.見逃してはならない皮膚抗酸菌症・性病・虫による皮膚病 1 回
- 7.母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である 1 回
- 8.皮膚悪性腫瘍 (悪性リンパ腫も含む) の診断と治療 1 回
- 9.皮膚付属器と真皮の役割と疾患 1 回
- 10.物理的皮膚障害の病態と治療戦略 1 回
- 11.膠原病と血管炎の診断に役立つ皮膚病変 1 回
- 12.水疱症は接着分子の自己免疫疾患である 1 回
- 13.湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による 1 回
- 14.皮膚の代謝異常症と色素異常症およびその障害 1 回
- 15.蕁疹を見逃すな 1 回
- 16.表皮角化異常はサイトカインによる

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	パソコンー式 PowerMacG5	2	講義用スライド作製
	パソコンー式 M9249J/A	1	講義用スライド作製
	ノートパソコンー式 PowerBOOKG4	1	講義用スライド作製
	デジタル一眼レフカメラ EOS-10D	1	講義用写真
	一眼レフ対応ダーマフォトモジュールセット	1	講義用写真